

平成 23 年度 総会および技術発表会の開催

はじめに

道南技術士会では、定例の総会および技術発表会を開催しました。例年通り、総会に先立ち、日頃の研究・業務の成果を発表する技術発表会が行われ、函館高専よりお招きした岩熊敏夫校長の講演をはじめ、平成 22 年度技術士第二次試験に合格された技術士 2 名の方が技術発表をされました。

以下にその概要を報告します。

日時：2011 年(平成 23 年) 4 月 21 日(木)

15:00～20:00

場所：ロワジールホテル

参加：23 名

1. 技術発表会



技術発表会の状況

講演 1

講師：岩熊敏夫氏 函館工業高等専門学校 校長
(技術士：環境部門)

演題：水域観測結果の解析に用いられる統計手法
概要：講演では、生物や水質の野外観測データについて、統計的手法の応用例を示した。観測結果の解釈そして観測計画の立案に統計科学手法は欠かせないものであり、その問題点や解析事例を解説された。

また、はじめに技術士受験の動機について述べられ、教育機関においても博士学位だけではなく技術士取得の必要性について説明された。

統計処理の問題点として、変数の独立性・正規性について、霞ヶ浦の底性動物調査を事例に挙げ解説された。ランダムイゼーション検定等の統計用語は私には？ばかりであったが、写真や図表を多用し、原発の汚水処理の話等も交えながら噛み砕いて解りやすく解説され、専門知識もさることながらプレゼン能力は大変勉強させて頂いた。おわりに次の事が述べられた。

- ・データ解析を進める上で、常に新しい手法を応用していくことが必要である。
- ・野外調査を担う次世代研究者の育成が課題であり、そのためには魅力的なテーマを設定していく必要がある。
- ・理工学分野の連携が、生態学・環境科学の進展に必要である。



講演 岩熊敏夫校長

講演 2

講師：大久保市郎氏

函館市土木部(技術士：建設部門)

演題：文化財庭園の修理について

概要：講演では、見晴公園内の庭園部分である香雪園の整備を例に文化財庭園の整備手順について紹介

された。

香雪園は、函館市に位置する見晴公園の庭園部分であり、2001 年(平成 13 年)に文化財保護法に基づく「名勝」の指定を受け「旧岩船氏庭園(香雪園)」の名で北海道唯一の国指定文化財庭園となった。

文化財庭園修理の原則は、文化財としての価値を後世に継承してゆくという使命のほかに、作庭時の石組構造や技術も保存することになっているため、修理以前と「ほぼ同じように」では不十分であり、「同じに」することが求められる。そのため、復元整備工事においては、発掘調査による作庭当時の状況判明、石材の据直しはやぐらによる施工を行う等、作庭当時と同じ構造、同じ工法により修理を実施した。



講演 大久保市郎 技術士

講演 3

講師：佐々木晃氏

(株)東鵬開発(技術士：建設部門)

演題：新技術の活用事例(落石対策、法面設計)

概要：講演では、落石対策工及び法面工の設計における新技術の活用事例について紹介された。

落石対策工では、従来の落石防護擁壁工で生じる用地支障や支持力不足の問題点に対し、新技術であるジオロックウォール工法を活用して解決した事例を解説された。法面工の設計では、急速スレーキング性の岩盤における、従来の現場吹付法砕工による施工時の安定確保対策を問題点として挙げ、連続繊維補強土壁工による対策事例を解説された。



講演 佐々木晃 技術士

2. 総会

定期総会では、布村代表幹事を議長のもと、以下の議案について審議し、承認された。

- ・平成 22 年度活動報告および会計報告
- ・平成 23 年度活動計画および予算案

平成 23 年度の活動計画では道南地域の活性化に資する社会動向や話題提供、継続研鑽の機会としての CPD 研修会の企画運営、技術士の広報活動、技術士資格者増強のための支援活動などを行っていく事が確認された。

最後に、北海道支部より昨年度の技術士試験結果、近年の技術士を巡る最近の動向について説明がされた。



定期総会の模様

3. 懇親会

総会后、同ホテル 18:00 より懇親会が行われました。新合格者、新規会員を含む会員の自己紹介・近況報告が恒例通り行われ、活発な情報交換がされました。



懇親会の様子

おわりに

東日本大震災を経てリーダーシップとは何かが問われる今日において、技術士の役割を改めて認識し、日本の復興に向けた一助となるよう、会の発展を願って今回の報告とさせていただきます。最後に、会員皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。